



ホームページ「日々のブログ」もぜひご覧ください。

「可能性」「尊重」「挑戦」を支える環境づくり

校長

「教育」と「子育て」。似ているところもあり、違うところもあり、様々な定義が可能で
す。しかし、子どもたちの健やかな成長を支える営みであるという点では、間違いなく一致し
ているはずで
す。私は、学校と家庭がそれぞれの役割を果たしつつ、協働しながら子どもたちの
成長を支えることが肝要だと思っています。学校や家庭がやるべきことは一言で言えば「環
境づくり」だと考えます。当校の教育ビジョンに明記している子どもたちに育みたい3つの力
「可能性」「尊重」「挑戦」を伸ばすために、どのような環境づくりが必要でしょうか。

まず、「可能性を伸ばす力」についてです。親や教師の助言や励ましが力となり、子どもた
ちの可能性を伸ばす力を高めることもあります。逆に、親や教師の言動が、子どもたちの可能
性の芽を摘んでしまうこともあります。子どもたちの可能性を伸ばすのは子どもたち自身で
す。親や教師が絶対にやってはいけないことは、「子どもたちの可能性を奪うこと」です。こ
のように考えると、何が良くて何が悪いのか、どのような環境を整えればよいかが見えてくるよ
うに思います。

次に、「尊重する力」についてです。家庭での最高のロールモデルは親であり、学校では教
師です。子どもたちは、親や教師など周りにいる大人たちをモデルにしながら学んでいきま
す。言うまでもありませんが、差別的な言動が飛び交う環境で、人を尊重しようとする力はな
かなか育ちません。まずは、親や教師が、子どもたちに人を尊重する姿勢を見せているか、子
どもたちに共感的な態度を示しているか、常に振り返ってみるべきでしょう。「共感」とは自
分の考えや評価を抜きにして相手の立場や気持ちにそのまま近づくことです。親も教師も子ど
もたちをよりよい方向に導こうとするあまり、自分の考えを反映させようとしがちだというこ
とを意識しておかなければならないと思います。

最後に、「挑戦する力」についてです。「挑戦する」とは「挑む」「立ち向かう」ことですから、
その過程には、当然苦しみや困難を伴うこともあります。それを乗り越えないと挑戦は続
いていきません。子どもたちにとって挑戦できる環境とは、その苦しみや困難に寄り添って解
決策を一緒に考えたり、しのぐための選択肢を提示したり、時には黙って見守ってもらえたり
する環境です。学校では、子どもたち自身に身に付けてもらいたい力として「レジリエンス＝
しなやかでくじけない心」を提唱していますが、そこにも環境づくりが重要です。

そして、肝に銘じておきたいのが、親や教師の発言や振る舞いは、子どもたちに非常に大き
な影響を与えるということです。また、子どもたちとの信頼関係を築くために、子どもたちを
上から目線で見るとはならず、一人の人間として尊重し、成長過程の不完全さを許容する寛容
さをもつことも必要だと考えています。

子どもたちの成長を支える環境づくりのパートナーとして、学校と家庭がしっかりと連携し
協働していきましょう。

学校教育ビジョンで目指す3つの資質・能力
「可能性を伸ばす力」「尊重し合う力」「挑戦する力」について、
運動会を振り返って、子どもたちが自分の成長を確かめました。
※子どもたちが振り返りカードに書いたものの一部を掲載します。

1年生

50めえとるそうのスタートで、てをいっばいふったら、1いをとれてたのでうれしかったです。(挑戦)

2くみのあやとくんがはやくてどきどきしました。4いになったともだちもがんばっていました。(尊重)

1年生

わたしは、たまいで、あかぐみが2かいせんともかったのでうれしかったです。(尊重)

50めえとるそうでは2いだったけどがんばれてよかったです。(挑戦)

1年生

たまいでたまをいれるのがたのしかったです。(可能性)

ともだちがたまをかごにいれてすごいとおもいました。(尊重)



1年生

にいがたじんくをたのしくおどれました。(可能性)

ともだちがたまいでチェッコリをかっこよくおどっていました。(尊重)

2年生

たまいでくひょうの3こいじょう入ってうれしかったです。(可能性)

50メートルそで1いになれたのでよかったです。(挑戦)

あいてにもおうえんしました。(尊重)

2年生

まけてもたのしんでいたのがみんなのいいことだと思いました。(尊重)

50メートル走で1いはとれなかったけどあきらめずにはしれました。(可能性)

つぎのうんどう会では50メートル走で1いをとれるようにがんばりたいです。(挑戦)

2年生

友だちのよかったところは、かなしくてないたんじゃなく、うれしくない人がいたのがいいことだと思いました。(尊重)

50メートル走でどうてんだったときに、ぎりぎりあいてがかったところがたのしかったです。なぜかという1いになるか2いになるかどっちかという思いではしたのでとってもわくわくしました。(尊重)(挑戦)

2年生

50メートル走で1いになれてよかったです。(挑戦)

ともだちがほくに「がんばれ」といってくれてうれしかったです。(尊重)

ほんとうにじぶんが1いになれてよかったです。(可能性)



3年生

練習の時は一位ではなかったけど、かのうせいを信じて運動会で走ってみると一位になれました。かのうせいはだいじだと思えます。(可能性)

3年生

つなひきで白に勝つことはできなかったけど、自分のできることで「オーエス」と大きな声で言うことができた。(可能性)

1～6年生に応援席から「がんばれ～」ということができた。(尊重)

みんなで見たつなひきの動画を練習でやり、本番でそれをいかすことができた。(挑戦)

4年生

練習してきたきょうぎに全力でできました。(挑戦) 学年がちがう人でも「がんばれ」と言いました。おうえん団のみなさんがいろいろなしゅもくの時に白組おうえん歌を歌ったりしていて、すごく運動ができて楽しかったです。(尊重)

5年生

今年の運動会は、はじめて委員会の仕事で運動会の手伝いをしました。はじめてだったので、あまり分かりませんでした。しかし、友達が係の仕事で何をするのか教えてくれました。(挑戦) (尊重) 来年は、5年生にやることを教えてあげるなど、手本になれる6年生になりたいです。(可能性)

5年生

100m走で一等になれてうれしかったです。友だちが100m走で転んだのですが、あきらめずゴールに向かう姿がかっこよかったです。(可能性) また、5年生のみんなで転んだ友だちをなくさめる行動に感動しました。(尊重) リレーで2位をとれてうれしかったです。応援に精いっぱい取り組み、トロフィーを獲得した白組がすごいと思いました。(尊重)

6年生

赤組でけがをした人がいたのですが、白組が走ってかけつけ助ける姿がありました。学年関係なく全力で応援するみんながすごかったです。(尊重)

運動会は、ただ勝ち負けを競うのではなく、みんなとかかわり、協力する大切さを教えてくれるものでした。

(尊重) (可能性)



(編集等：笹口小学校 評価・発信委員会)

笹口小学校ブログ

毎日更新しています！

スマートフォンからパソコンからぜひご覧ください。

QRコード



URL <https://blog.city-niigata.ed.jp/keyaki-c/>